

6 米

(1) 国際的な米需給の概要

○2008/09年度の米需給（予測）のポイント

米の供給面では、中国、インド、バングラデシュ等で増産される見込みであり、世界の生産量も増加が見込まれている。

需要面では、中国、インド、バングラデシュ等で消費量が拡大し、世界の消費量も増加が見込まれている。

期末在庫量については、昨年に引き続き生産量が消費量を上回ることから在庫が積み増しされ、期末在庫率も上昇すると見込まれる。

【生産量】

生産量は、中国、インド、バングラデシュ等で増加し、世界全体では前年度より7.8百万トン増加（1.8%）し、439.7百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.7百万トン上方修正され、国別にはフィリピン等で上方修正され、タイ等で下方修正された。

【消費量】

消費量は、中国、インド、バングラデシュ等で増加し、世界全体では前年度より5.8百万トン増加（1.4%）し、434.1百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.0百万トン下方修正され、国別にはインド、ミャンマー等で上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より1.9百万トン減少（▲6.4%）し、29.0百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではインド、タイ等で輸出量の減少が、パキスタン、ベトナム、エジプト等で輸出量の増加が見込まれている。一方、輸入国ではイラン、サウジアラビア等で輸入量の増加が、EU、フィリピン等で減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.8百万トン下方修正され、国別ではインド、タイ、米国等の輸出量、フィリピン、EU等の輸入量が下方修正され、マレーシア等の輸入量が上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから、中国、インド等で積み増しされ、世界全体では前年度より5.6百万トン増加（7.1%）し、84.6百万トンとなる見込みであり、期末在庫率は19.5%まで回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.9百万トン上方修正され、国別には、インド、タイ、中国、ベトナム等で上方修正された。

表-1 世界の米需給

(単位:百万トン)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	420.7	431.9	439.7	0.7	1.8
中国	127.2	130.2	135.1	-	3.7
インド	93.4	96.4	97.5	-	1.1
インドネシア	35.3	35.8	36.3	-	1.3
バングラデシュ	29.0	28.8	29.6	-	2.8
ベトナム	22.9	24.4	23.5	-	▲3.6
タイ	18.3	19.3	19.4	▲0.1	0.5
フィリピン	9.8	10.5	10.7	0.5	1.6
消費量	420.9	428.3	434.1	▲1.0	1.4
中国	127.2	127.5	130.5	-	2.4
インド	86.9	90.4	93.0	▲0.5	2.9
インドネシア	35.9	36.6	36.9	-	0.8
バングラデシュ	29.8	30.5	30.9	-	1.3
ベトナム	18.8	19.5	19.0	-	▲2.4
フィリピン	12.0	13.5	13.2	▲0.0	▲2.6
ミャンマー	10.7	10.2	9.7	▲0.3	▲5.4
貿易量	31.3	30.9	29.0	▲0.8	▲6.4
(輸出)					
タイ	9.6	10.0	9.0	▲0.5	▲10.2
ベトナム	4.5	4.7	5.2	-	11.8
パキスタン	2.8	3.0	4.0	-	33.3
米国	2.9	3.5	3.1	▲0.1	▲9.3
インド	5.5	4.5	2.0	▲0.5	▲55.6
中国	1.3	1.0	1.3	-	36.8
エジプト	1.2	0.5	0.8	-	77.8
(輸入)					
フィリピン	1.8	2.7	2.0	▲0.5	▲25.9
ナイジェリア	1.6	1.6	1.6	-	3.2
EU-27	1.3	1.6	1.1	▲0.2	▲33.1
サウジアラビア	1.4	1.0	1.0	-	5.9
イラン	1.1	1.1	1.4	-	27.3
イラク	0.6	1.0	1.0	-	2.6
マレーシア	0.9	0.7	1.0	0.1	29.2
期末在庫量	75.4	79.0	84.6	1.9	7.1
中国	35.9	38.0	41.6	0.1	9.6
インド	11.4	13.0	15.5	1.0	19.2
フィリピン	4.9	4.5	4.0	-	▲11.0
インドネシア	4.6	4.4	4.6	-	4.6
日本	2.4	2.7	3.0	-	10.1
タイ	2.5	2.2	3.1	0.4	41.2
ベトナム	1.4	2.0	1.6	0.0	▲21.8
期末在庫率	17.9%	18.4%	19.5%	0.5	1.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「PS&D」

(2) 米の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 中国

【需給状況】

中国の生産量は、収穫面積の拡大と単収の増加が見込まれており、前年度より4.9百万トン（3.7%）増加し、135.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より3.0百万トン増加（2.4%）し、130.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の拡大などから、0.3百万トン増加（36.8%）し、1.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は3.6百万トン増加（9.6%）し、41.6百万トンとなり期末在庫率も31.6%（2.0ポイント増）に上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の輸出量が下方修正され2008/09年度の期首在庫量が上方修正された結果、期末在庫量も0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

中国の米については、収穫は終了している。

【貿易情報】

中国については、2007年12月に輸出還付を取り消し2008年1月から輸出税を賦課しているが、輸出税率が2008年12月より引き下げられている（5%→3%）。なお、以前より輸出割当許可証管理を行っている。

イ インド

【需給状況】

インド生産量は、前年度より1.1百万トン増加（1.1%）し、97.5百万トンとなる見込みである。2008/09年度の米の合計作付面積（カリフ米とラビ米の合計）は、昨年を上回る見込みであり、米の生産量も増加する見込みである。これは主に米価格が有利なため、特に最低保障価格と稲作強化制度（SRI）によるところが大きい。

消費量は、引き続き増加傾向にあり前年度より2.6百万トン増加（2.9%）し、93.0百万トンとなる見込みである。

輸出量は、2.5百万トン減少（▲55.6%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は2.5百万トン増加（19.2%）し、15.5百万トンとなり期末在庫率も16.3%（2.6ポイント増）に上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、消費量と輸出量が下方修正された結果、期末在庫量が1.0百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

インド農務省によると2008/09年度の米の合計作付面積（カリフ、ラビの双方を含む）は約150万haの増加が見込まれ、ラビ米栽培期の天候が平年並みであれば、2008/09年度の生産量は9.89百万トンとなる見込みであり、2007/08年度より320万トン近く増えると推定されている。なお、ラビ米の作付けは2月頃まで続く見込みである。

【貿易情報】

インドについては、非バスマティ米の輸出が禁止されており、現在も継続しているが、種子用の非バスマティ米に限り輸出禁止が2008年9月に解除された。また、バスマティ米に輸出税を課しているが、輸出税の撤廃が予定されている。

（世界の生産量シェア 1位（2008/09年度30.7%）
輸出量シェア 6位（2008/09年度 4.5%））

表－2 中国の米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	127.2	130.2	135.1 (130.7)	-	3.7
消費量	127.2	127.5	130.5 (126.6)	-	2.4
輸出量	1.3	1.0	1.3 (1.5)	-	36.8
輸入量	0.5	0.3	0.3 (1.0)	-	32.0
期末在庫量	35.9	38.0	41.6 (61.7)	0.1	9.6
期末在庫率	27.9%	29.6%	31.6% (48.2%)	0.0	2.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	28.94	28.92	29.20 (…)	-	1.0
単収(t/ha)	6.28	6.43	6.61 (…)	-	2.8

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

（世界の生産量シェア 2位（2008/09年度22.2%）
輸出量シェア 5位（2008/09年度 6.9%））

表－3 インドの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	93.4	96.4	97.5 (98.0)	-	1.1
消費量	86.9	90.4	93.0 (92.3)	▲ 0.5	2.9
輸出量	5.5	4.5	2.0 (4.3)	▲ 0.5	▲ 55.6
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	…
期末在庫量	11.4	13.0	15.5 (18.0)	1.0	19.2
期末在庫率	12.4%	13.7%	16.3% (18.6%)	1.2	2.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	44.00	44.00	44.50 (…)	-	1.1
単収(t/ha)	3.18	3.29	3.29 (…)	-	0.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

ウ インドネシア

【需給状況】

インドネシアの生産量は、良好な天候による単収の増加が見込まれており、前年度より0.5百万トン増加（1.3%）し、36.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.3百万トン増加（0.8%）し、36.9百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.3百万トン増加（60.0%）し、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン増加（4.6%）し、4.6百万トンとなり、期末在庫率も12.4%（0.4ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【貿易情報】

インドネシアについては、米の純輸入国であり主要な輸出国ではないが、4月11日から輸出を禁止している。

エ タイ

【需給状況】

タイの生産量は、収穫面積の拡大が見込まれており、前年度より0.1百万トン増加（0.5%）し、19.4百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン減少（▲1.0%）し、9.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、アジア、アフリカ等からの強い需要が見込まれていた前年度から1.0百万トン減少（▲10.2%）し、9.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.9百万トン増加（41.2%）し、3.1百万トンとなり期末在庫率も16.8%（5.6ポイント増）まで回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、単収の下方修正により生産量が0.1百万トン下方修正され、輸出量が0.5百万トン下方修正された結果、期末在庫量が0.4百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2009年1月29日～2月4日付け農業協同組合省米局の米情勢報告によると、2月7～10日にかけて、北部および東北部の最低気温が14度まで低下すると推測され、稲の生育等への悪影響が懸念されている。また、同報告によると、2008/09年度雨季作米の作付面積は9.3百万haと見込まれており、このうち99.8%で収穫が終了している。2009/10年度の乾季作米の作付け面積は、約1.9百万ha（前年度2.0百万ha）と予想されており、このうち1.0百万haで作付けが終了している。

〔世界の生産量シェア 3位（2008/09年度 8.2%）〕

表－4 インドネシアの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	35.3	35.8	36.3 (37.7)	-	1.3
消費量	35.9	36.6	36.9 (37.6)	-	0.8
輸出量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	...
輸入量	2.0	0.5	0.8 (0.3)	-	60.0
期末在庫量	4.6	4.4	4.6 (3.2)	-	4.6
期末在庫率	12.8%	11.9%	12.4% (8.5%)	-	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	11.90	11.90	11.90 (...)	-	0.0
単収(t/ha)	4.60	4.66	4.72 (...)	-	1.3

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

〔世界の生産量シェア 6位（2008/09年度 4.4%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度31.1%）〕

表－5 タイの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	18.3	19.3	19.4 (21.5)	▲ 0.1	0.5
消費量	9.8	9.6	9.5 (12.0)	-	▲ 1.0
輸出量	9.6	10.0	9.0 (8.5)	▲ 0.5	▲ 10.2
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	0.0
期末在庫量	2.5	2.2	3.1 (5.0)	0.4	41.2
期末在庫率	13.0%	11.2%	16.8% (24.4%)	2.5	5.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	10.27	10.60	10.70 (11.3)	-	0.9
単収(t/ha)	2.69	2.76	2.75 (2.88)	▲ 0.01	▲ 0.4

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

オ ベトナム

【需給状況】

ベトナムの生産量は、単収が過去最高を記録した昨年度より低下すると見込まれることから前年度より0.9百万トン減少（▲3.6%）し、23.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.5百万トン減少（▲2.4%）し、19.0百万トンとなる見込みである。

輸出量は、高い生産が維持されることから前年より0.5百万トン増加（11.8%）し、5.2百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は0.1百万トン減少（▲25.0%）し、0.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は0.4百万トン減少（▲22.0%）し、1.6百万トンとなり、期末在庫率も6.5%（1.9ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【貿易情報】

ベトナムについては、政府契約以外の輸出業者による新規輸出契約を停止していたが、6月13日からこれを解除した。また、8月15日からは、一定基準の輸出価格を超えた場合に輸出税が賦課されていたが、12月19日に課税が停止された。

カ フィリピン

【需給状況】

フィリピンの生産量は、収穫面積の拡大が見込まれており、前年度より0.2百万トン増加（1.6%）し、10.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.3百万トン減少（▲2.6%）し、13.2百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.7百万トン減少（▲25.9%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.5百万トン減少（▲11.0%）し、4.0百万トンとなり、期末在庫率も30.8%（2.9ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、収穫面積が上方修正されたことにより生産量が0.5百万トン上方修正され、輸入量が0.5百万トンと消費量がわずかに下方修正された。

（世界の生産量シェア 5位（2008/09年度 5.3%）
輸出量シェア 2位（2008/09年度17.9%））

表－6 ベトナムの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	22.9	24.4	23.5 (25.1)	-	▲ 3.6
消費量	18.8	19.5	19.0 (20.4)	-	▲ 2.4
輸出量	4.5	4.7	5.2 (4.5)	-	11.8
輸入量	0.5	0.4	0.3 (0.2)	-	▲ 25.0
期末在庫量	1.4	2.0	1.6 (4.8)	-	▲ 22.0
期末在庫率	6.0%	8.3%	6.5% (19.3%)	-	▲ 1.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.20	7.41	7.29 (…)	-	▲ 1.6
単収(t/ha)	4.82	4.98	4.88 (…)	-	▲ 2.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

（世界の生産量シェア 7位（2008/09年度 2.4%）
輸入量シェア 1位（2008/09年度 6.9%））

表－7 フィリピンの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.8	10.5	10.7 (11.1)	0.5	1.6
消費量	12.0	13.5	13.2 (12.9)	▲ 0.0	▲ 2.6
輸出量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	-
輸入量	1.8	2.7	2.0 (1.8)	▲ 0.5	▲ 25.9
期末在庫量	4.9	4.5	4.0 (2.2)	-	▲ 11.0
期末在庫率	40.6%	33.7%	30.8% (17.1%)	0.1	▲ 2.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.19	4.35	4.49 (…)	0.19	3.2
単収(t/ha)	3.70	3.83	3.76 (…)	▲ 0.01	▲ 1.8

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」